

# 所報 研究所だより

## 教育・しまんと

令和6年度  
NO. 6

発行 四万十市教育研究所

四万十市国見 222 番地  
Tel/Fax (0880) 37-2817  
ふれあい学級(0880) 31-1130

### ★「四万十市複式教育研究大会」 (下田集会) から

報告が遅くなりましたが、先月の10月30日(水)に、「第37回 四万十市複式教育研究大会」(下田集会)が下田小学校で開催されました。

当日は、市内及び三原村の複式校9校に加えて、具同小、足摺岬小、三崎小、大島小からも関係の教職員の参加を得て、「自ら課題を追求し、主体的に学ぶ子どもの育成」～ 伝え合い、学び合い、深め合う算数科の授業づくりを目指して～ という研究主題のもと、算数科の授業公開と全体会では、下田小学校からの基調提案を受け、その後、視点に基づいた授業参観の協議と複式・少人数学級についての協議をグループ別KJ法で行い、最後に全体共有の場を持ちました。

各グループともに、積極的な意見交換が行われ、授業公開された下田小学校の先生方にとっても、貴重で有意義な時間になったのではないかと思います。

閉会にあたって、来年度の複式教育研究大会の会場校である東中筋小学校の濱口明大校長先生より、締めくくりのご挨拶をいただき、盛会のうちに研究大会を終えることができました。

参加された先生方、お疲れ様でした。そして、下田小学校の上田校長先生をはじめ諸先生方、研究大会に向けての準備や当日の運営等々大変お世話になりました。ありがとうございました。

### ◆「中学校教科担当者会」について 本年度をもって「終了」

国語、社会、数学、理科、英語の5教科では、10年近くにわたって、それぞれの教科の担当者が一堂に会し、西部教育事務所の指導主事のご指導・ご助言のもと、各種学力調査の分析及び検証

を踏まえて、四万十市の生徒の「強みと弱み」を把握し、課題克服に向けて授業改善に取り組んできました。

あわせて、当初は、業者採点と自校採点及び学校間格差の是正という視点もあり、学期に1回の頻度で各種学力調査結果をもとに開催してきました。

その後、「自校採点の分析・検証等の向上」「授業づくり講座」「Pioneer研修」「各教科等の指定研究会」「校内研究会の内容充実」「校内での教科会(含む他校との合同研)」「その他の悉皆研修」等々と数多くの研修の場が設定されてきました。

と同時にその研修内容が教科担当者会の研修と重複していることや中学校の学校再編による担当教員数の減、さらに「働き方改革」等々、諸々の事情から鑑みて、教科担当者会が一定の役割を終えたのではないかと判断するに至りました。

さらに、現場の担当教員からも開催頻度及び研修内容の見直しを望む声があり、本年度からは年1回の開催とし、内容も本市の生徒の課題に特化してその克服に向けた共有・実践を図るとしましたが、年1回の開催でも、上記にあげた他の研修会等との重なりがあり、担当教員の参加が限られる等、日程調整に苦慮する現状がありました。

上記のようなことを踏まえ、教育委員会での協議を重ねた結果、「**中学校教科担当者会**」は**本年度をもって「終了」**することになりました。

中学校3校の校長先生方には、その旨を事前にお伝えし了承を得ております。今月22日の校長会でも報告させていただきました。そしてこれまで何かとご支援いただきました西部教育事務所には、今月19日に事務所に伺い、今城所長にこれまでのご指導・ご助言に感謝をお伝えすると共に事情をご説明し了承を得たところです。

尚、教科担当者会は終了しますが、同じような内容の研修会は、指定研究会や教科会、授業づくり講座等も含めて継続していきますので、先生方には引き続き資質指導力の向上に努めていただき、児童生徒の学力の定着及び向上に寄与していただきたいと思っております。